

# COLORFUL II

西東京市立青嵐中学校  
第2学年 学年便り  
令和5年11月2日 No. 28

## ～合唱コンクールの作文紹介 その2～

合唱コンクールの作文を引き続き紹介します。



### たくさん印象に残った合唱コンクール C組 RM

今回の合唱コンクールの中で私にも学年のみんなにも、そして先輩方にもたくさんの成長があったと思う。その成長の中で、印象に残っていることについて書いてみる。

まず最初に、本当に今回の合唱コンは成功したと思っている。私自身も最初、「大地の歌」は嫌だなと思っていたし、クラスみんなの中にも結構やりたくない、という人がたくさんいた。けどその中でも昼休みや放課後などを使ってまでみんなといっぱい歌った。納得いかないことだらけで困ったことや、ちょっともめそうになったこともあったかもしれない。けど、実行委員やパートリーダーが積極的に私たちのクラスをまとめてくれて助かったし、本当にありがたかった。この、実行委員とパートリーダー、そして先生や伴奏者、クラスみんながいてくれたからこそ、悔しいけれど銀賞をとることができたということがあると思う。この団結がすごくよかった。

そして、私が本当に一番印象に残っているのが、3年生の合唱だ。初めに学年合唱で後ろの席から3年生の声が聴こえたとき、本当に感動した。1年と2年とは違う声で、歌声がきれいで、パートごとにしっかりと別れていて本当にすごかった。クラスで違う自由曲も、どのクラスが選ばれてもおかしくないほど、全クラス素晴らしかった。私は3年に兄がいるが、本当にずっと同じような感じだったけれど、急な成長が見られたし、部活の先輩も本当にかっこよく見えた。私たちもたくさんの工夫をしたけれど、3年生のあの歌声にはかなわないなと感じた。

他にも違う成長もあったし、楽しさ、嬉しさ、悔しさ、とたくさんあったと思う。けど、私はこの2年C組のみんなと「夢の世界を」と「大地の歌」、ヤッサッサを歌えたことがすごく楽しかった。アレンジで踊ってみたり、ヤッサッサと叫んだりなど、工夫ができて合唱は成功で、とてもいい思い出になった。

### 来週の予定

8：25までに自席に着きましょう。



日にち		予 定
11月6日	月	①～⑥ 通常授業
11月7日	火	①～⑥ 通常授業 わくわく自習室
11月8日	水	①～④ 45分授業
11月9日	木	①～⑥ 通常授業 わくわく自習室 避難訓練
11月10日	金	①～⑥ 通常授業

### 「喜怒哀楽の合唱コンクール」 D組 ST

私たちのクラス、D組ではこの1ヵ月半とても色々なことがあった。

夏休み前に課題曲の練習が始まり、パートごとに音取りをした。夏休みが明けて自由曲の「心の瞳」を練習し始めた。「心の瞳」は迫力をつけないと平坦に聞こえてしまうとても難しい曲で、それぞれ感じ方が違い、すれ違い、衝突してしまうこともあった。けれど話し合いをしたり、お互いの意見をよく聞いてみたりして否定ばかりではなく、褒め合い、クラス全体の意識が変わり雰囲気良くなった。お互い意見も言いやすくなり、強弱やブレスの場所、歌の入りなど様々なところを修正した。

本番では賞をとることはできなかったけど、辛いことを乗り越えられたから、こんなに最終的にクラス全体で団結し、全力で練習の成果を発揮できたのかなと思う。

そして今年は去年とは違う2曲歌うということがあった。全学年初めての中で不安に襲われていたと思う。どの時間配分で練習すればよいのか、本番までにすべて覚えられるかなどたくさんあったけれど、実行委員、パートリーダー、指揮者、伴奏者の人たちが前に立ち、まとめてくれたからこのように成功できたと思う。

初めてその場で聞いた1、3年生の合唱は迫力が凄いもの、心に刺さるもの様々な合唱が聞けて感動した。特に3年生は優しい曲でも迫力があり、とても感動した。

今回の合唱コンクールは初めてのこともあったし、クラスで嬉しいことも悲しいこともたくさんあったけど、大成功だったのは、各クラスのたくさんの努力があり、支えてくれた方がいたからだと思った。今回の合唱コンクールで学び、知って経験した事を今後の合唱コンクールや生活で生かしていきたい。



### 「全員の力」 E組 IT

僕は合唱コンクールに出ることができなかった。残念で今までの練習も意味がなかったと思っていた。

僕は今年の合唱コンクールでは、実行委員をやった。前回の合唱コンで、皆から歌声を褒められたからだ。今回は金賞をとるために気合を入れていた。

パート分けが行われ、本格的に練習が始まった。僕はテノールパートで全員男子だった。最初の方はふざけている人が多いかなと思っていたが、少しずつ皆頑張って一人一人が声かけをしていける様になり、団結力が強くなってきた。

僕らのパートは声がとても大きいため、伴奏などが聞こえにくく、歌が先に行き過ぎてしまったり、遅くなってしまったりする。他のパートにも注意され、テノールパートで集まって、改善案を出していた。「指揮をよく見る。」や「リズムをとって歌う。」など、いろいろな意見を出し、練習を重ねた。他のパートとも少しずつ合ってきて、合唱全体としてもとても成長していたと思う。家での自主練や、曲を聞いてくるなど、クラスが一丸となり合唱に取り組んでいた。僕は心の中で、このクラスでなら絶対に金賞をとれると信じていた。

木曜日に合唱コンクールに参加できないことが分かり、とても楽しみにしていたので、ショックは大きかった。当日金賞だと分かり、うれしい気持ちでいっぱいになった。今までの練習が無意味だったとは今は全く思っていない。今までの努力も練習もアドバイスも協力も仲間が発揮してくれた。合唱は一人欠けたとしても、他の人が埋めてくれる。全員の努力でこの金賞をとることができたと確信している。